

加古川水系河川整備計画

国管理
区域

治水

安全で安心できる暮らしを守るために

注目!!

加古川水系ではこれまでも、度重なる洪水被害を受けてきました。なかでも、戦後最大規模の洪水となった平成16年台風第23号洪水においては、流域で1,600戸以上が浸水するなど甚大な被害が発生しました。

平成16年 台風23号の 被害



加古川流域に甚大な被害が発生しました。

死者	1名
床上浸水	430戸
床下浸水	1,222戸



加古川 32.6km付近（加東市）



加古川 36.0km付近（加東市）

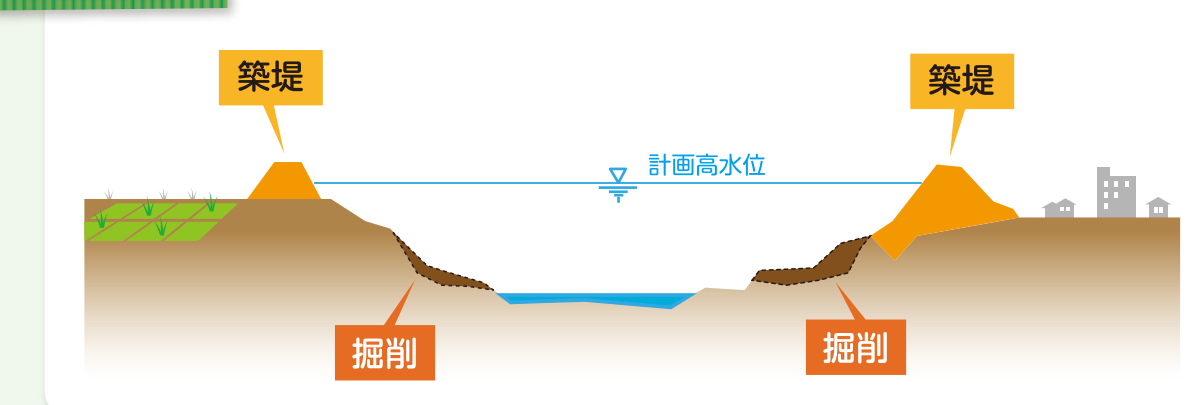


加古川 35.2km付近（龍龍瀬）



「堤防整備」、「河道掘削」、「橋・堰の改築」等を計画的・効率的に推進し、戦後最大規模となる平成16年台風第23号洪水と同規模の洪水が再び発生した場合でも浸水被害の防止または軽減を図ります。

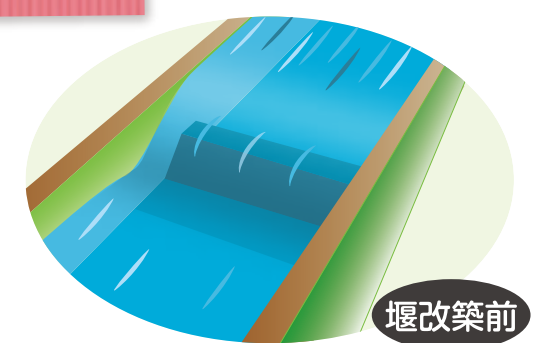
堤防整備 河道掘削



堤防整備 堤防が整備されていない区間について、新たに堤防をつくります。

河道掘削 河床を掘り下げたり、河岸を掘削します。

橋・堰の改築



その他、地震対策、高潮対策、内水対策等を必要に応じて実施します。

河川管理

洪水による浸水被害から
国民の生命、財産を守るために

注目!!

河川管理施設等の機能維持を実施します。

堤防の維持管理

日常的な点検や、出水期前の全川徒歩による詳細な点検を実施します。点検により異常があれば、補修といった必要な対策を実施します。また、堤防の変状確認のため梅雨時期と台風時期を目途に堤防除草を実施します。



堤防の点検

加古川大堰の機能維持

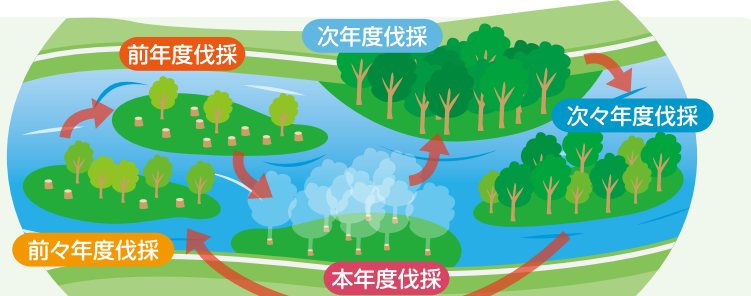
24時間体制で監視を実施するとともに、機械設備や電気通信施設、土木施設等の点検を実施します。異常があれば、補修といった必要な対策を実施します。



加古川大堰

樹木の管理

洪水を安全に流下させるために支障となる樹木は伐採します。発達した樹木については、生物の生息・生育・繁殖の場に配慮した「輪伐」による計画的伐採を実施します。



河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

注目!!

河川の環境の保全のために安定した水量を確保します。

流量の確保

流水の正常な機能を維持するために必要な流量は動植物の生息地又は生育地の状況、漁業、景観、流水の清潔の保持等を考慮して、国各地において、しるべき期概ね9m³/s、その他の期間概ね7m³/sです。流水の正常な機能を維持するために、関係者との調整により広域的かつ合理的な水利用の継続を図り、正常流量の確保に努めます。

渇水時の関係機関の連携と調整

渇水時に際しても水利用や河川環境にできるだけ影響を及ぼさないよう、渇水時には、「加古川下流部渇水調整協議会」を開催し、関係機関との情報交換や渇水調整を実施します。また、水資源の重要性についての啓発、広報を実施します。

河川環境

生物の多様性が将来にわたって維持されるように

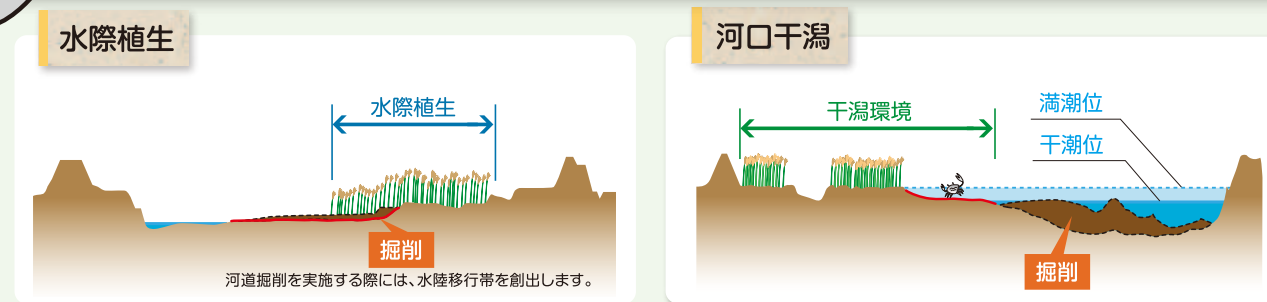
注目!!

「瀬・淵」、「わんど・たまり」、「礫河原」の再生に努めます。



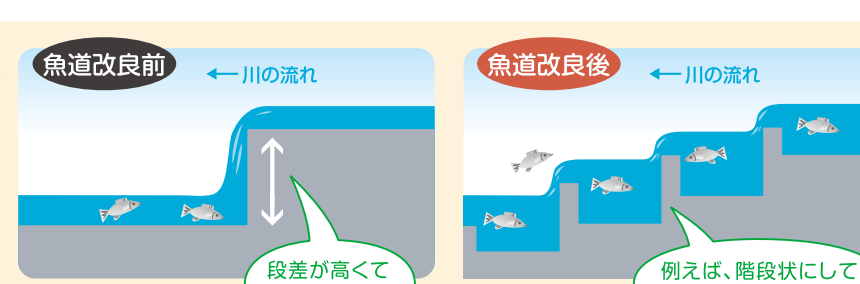
注目!!

「水際植生」、「河口干潟」の保全に努めます。



魚類などの移動の連続性

魚類の遡上状況の調査等により、魚類や甲殻類のぼりやすい魚道について検討し、必要に応じて魚道の改良等を実施します。



地域住民との連携

多様化・高度化した地域住民のニーズに応えるために

注目!!

地域の実情に合わせ、多様化や高度化した地域住民のニーズに応えた河川整備を実現していくために、地域住民、地域で活動されている方々、河川管理者が一体となった取り組み、または、地域の自発的な活動やその活動を行う人材の育成、地域住民間の交流を支援することで、地域の方を活用した、それぞれの個性を活かした川づくりを実施します。

